

甲状腺検査

甲状腺は喉の下に位置し、蝶々のような形をした小さな臓器です。甲状腺には体に必要なホルモンを生成する大切な役割があり、主に新陳代謝の促進、神経と精神のコントロール、脳や骨の成長・発育にも関連しています。

甲状腺の異常には、甲状腺ホルモンの分泌が過剰になる機能亢進症、逆に分泌が不足する機能低下症、甲状腺内部にできものができる腫瘍性病変の3種類があります。一般に、甲状腺疾患は男性より女性に多いと言われています。

甲状腺検査は次のような方におすすめします。

- ・ご家族（血縁関係）に甲状腺疾患の方がいる
- ・のどが腫れていると言われたことがある
- ・動悸や手のふるえがある、汗をかきやすい（機能亢進が疑われる）
- ・だるい、疲れやすい、むくみがある（機能低下が疑われる）

甲状腺ホルモン検査（FT4，TSH）

甲状腺疾患の有無や、甲状腺の働きが正常であるかを血液検査で調べます。

スクリーニング検査では、甲状腺から分泌される甲状腺ホルモンの1つである「FT4」、脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン「TSH」の2つを主に測定します。

基準値： FT4：1.00～1.70 ng/ml
TSH：0.56～4.26 μ lU/ml

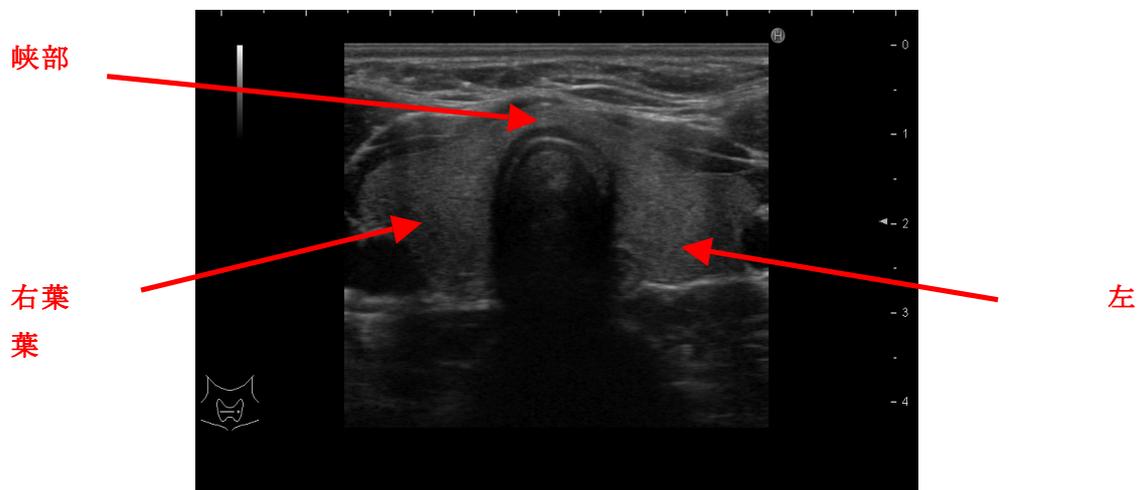
FT4が高く、 TSHが低い	甲状腺機能亢進症 バセドウ病・亜急性甲状腺炎・ 無痛性甲状腺炎など
FT4が低く、 TSHが高い	甲状腺機能低下症 慢性甲状腺炎・橋本病など

甲状腺超音波検査

超音波を用い、甲状腺の大きさ形、しこりの有無・位置、内部の血流など甲状腺の状態を観察する検査です。

検査の方法：仰向けで寝た状態で首の部分にゼリーを塗りプローブを当て検査します。10分程度で終了する簡単な検査です。

甲状腺エコー画像（横断像・足側から見た像）



甲状腺超音波検査で疑われる疾患

- ・バセドウ病
- ・甲状腺機能低下症
- ・橋本病
- ・甲状腺炎
- ・甲状腺腫
- ・甲状腺がん など